

第11回石川県新人学童野球選手権大会 協同組合金沢問屋センター旗争奪大会 大会開催要項

1. 主催 石川県学童野球連盟
2. 主管 金沢市学童野球連盟
3. 主管協力 野々市市学童野球連盟
4. 後援 石川県野球協会 石川県
北國新聞社
5. 協賛 協同組合金沢問屋センター トップインターナショナル㈱
共同写真企画㈱中部支店
6. 会期 平成30年11月3日(土祝)、11月4日(日)【予備日 11月10日(土)】
7. 会場 金沢市内川少年野球場A・B 戸室スポーツ広場
野々市市民野球場
8. 出場チーム 能登北(3)、七尾(1)、能登中(1)、河北(1)、金沢(4)、加賀中(3)、加賀南(3)計16チーム
9. 出場資格 石川県学童野球連盟登録チーム
10. 参加申込 出場資格を得たチームは、各支部理事を通じ石川県学童野球連盟事務局へ連絡すること。
出場チームは、提出書類原本を石川県学童野球連盟ホームページより取得し抽選会前日までに、
選手登録票・チーム紹介・チーム集合写真をE-mailにて石川県学童野球連盟事務局へ提出すること。
※今年度(平成30年度)より、抽選会時の紙での書類提出は不要とします。
11. 抽選会及び監督主将会議 平成30年10月21日(日) 午前 10時30分(受付開始 10時00分)
場所：本多の森会議室 1階 第1会議室(B)
〒920-0935 金沢市石引4丁目17-1 (076-231-0191) 監督主将はユニフォーム着用。
2018年度野球規則及び競技者必携を必ず持参ください。
当日監督または主将が出席できない場合は、事前に事務局に届出し許可を得ること。
なお無断で欠席した場合は、そのチーム及び支部に対しペナルティーを科すことがある。
12. 参加費 1チーム 20,000円(抽選会受付時に納入のこと)
13. 開会式 ①平成30年11月3日(土祝)午前8時30分開式 金沢市内川少年野球場A
当日の集合時刻は、午前7時45分とします。
②選手宣誓は、予備抽選で1番を引いたチームの主将が行う。
③開会式はアップシューズ(ズック)を着用のこと。
④会場到着次第各チームは大会本部で受付をし、集合写真撮影を済ませ、開会式まで待機すること。
⑤各チームはブラカードを持参すること。
14. 大会規則
 - 【適用規則】 2018年度公認野球規則、公益財団法人全日本軟式野球連盟競技者必携に定める規則および学童部の取決め事項を適用する。
 - 【使用球】 公益財団法人全日本軟式野球連盟公認C号球を使用し、大会本部で用意する。
 - 【投球制限】 投手の投球回数については、1日7回までとする。投球数、アウトの数にかかわらず1回とカウントする。ただし、特別延長戦直前回は投げ切った投手に限り9回までの投球を認める。
 - 【ロージン】 大会本部で用意する。
 - 【打順表提出】 打順表の提出は、第1試合は開始予定時刻の30分前に、第2試合以降は前の試合の4回終了時に監督と主将が大会本部に提出し、原簿と照合ののち、球審立会いのうえ攻守を決定する。打順表は大会本部所定のものを使用し、5部提出するものとする。(1部返却)
 - 【試合規則】 ①試合は7回戦とし、5回終了をもって正式試合とする。得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。ただし、決勝戦には適用しない。
②日没暗黒および天候によるコールドゲームは、5回終了後は正式試合とし、それ以前の場合は審判員、大会本部が協議し決定する。
③正式試合成立後、試合開始より1時間45分を経過した場合、新しいイニングに入らない。
④7回終了時または時間による最終回終了時で同点の場合は、後記の特別延長戦により、勝敗を決する。
⑤ダッグアウトに入れる人数は、選手20名のほか、チーム責任者(引率責任者)1名、スコアラー1名、ユニフォームを着用した監督(30番)、コーチ(29番、28番)とする。
なお、選手の背番号は0~99番とし、主将は10番をつけること。
監督・コーチおよび選手は同意匠の帽子・ユニフォームを着用すること。
ストレートタイプのズボン禁止。(違反者はベンチ入りから除きます。)
チーム責任者(引率責任者)・スコアラーはユニフォームを着用してはいけない。(但し自チームの帽子着用のみ。)
⑥用具は、公益財団法人全日本軟式野球連盟公認の用具を使用すること。
⑦打者、次打者、走者、ランナーコーチはもちろん、バットボーイ、ボールボーイなど試合中にグラウンドに入る選手はヘルメットを着用すること。
⑧捕手(予備捕手も含む)は、ヘルメット、マスク、レガース、プロテクター、ファウルカップを着用すること。
⑨素振り用鉄パイプ、バットリングの球場内持込み・使用を禁止する。
選手が手首にサポーター・リストバンドを着用することを禁止する。

なお、負傷等により手首に包帯等を巻く必要がある場合は、大会本部の承認が必要である。

⑩シートノックは5分間とする。ただし大会運営上シートノックを行わないこともある。

この場合、攻守決定時に通知する。

⑪監督及び当該選手に限り抗議することが許される。

⑫監督に限り、グラウンドに出て指示することができる。

⑬監督が同一イニングに同一投手のところへ2度目に行くか、行ったとみなされた場合（伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところへ行かせた場合）は、投手は自動的に交代しなければならない。

⑭捕手または内野手が、1試合に投手のところへ行ける回数を3回以内とする。

なお、特別延長戦となった場合は、2イニングに1回行くことができる。

野手（捕手を含む）が投手の所へ行った場合、そこに監督が行けば、双方1回と数える。

ただし投手交代の場合は、上記の回数には含まない。

⑮試合中ファウルグラウンドでウオームアップを行う場合、1組について認める。

【ブルペン使用】 ①次の試合のバッテリーが、競技場内のブルペンを使用することは自動的に許されない。

②ブルペンの使用は、攻守決定後自チームが入る予定のベンチを占有しているチームの監督に許可を得たうえで、先発バッテリー1組に限り使用することができる。

③ブルペンの捕手は、マスク・プロテクター・レガース・ヘルメット・ファウルカップを着用すること。

【特別延長戦】 ①継続打順で、前回の最終打者を1塁走者、2塁・3塁の走者は順次前の打者とする。

すなわち、無死満塁の状態にして1イニングを行い得点の多いチームを勝ちとする。

勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。

②通常の延長戦と同様に規則によって認められる選手の交代は許される。

③特別延長戦2イニングを完了しても決着がつかないときは、抽選で勝敗を決する。

ただし決勝戦は両チーム優勝とする。

【抽選方法】 ①審判員および試合終了時に出場していた両チームのメンバーが、終了あいさつの状態に整列する。

②抽選用紙に○印、×印各9枚記入したものを封筒に入れる。

③球審が18枚の封筒を持ち、先攻チームより1枚ずつ交互に選ばせる。

④2人の審判員が両チームの監督立会のもとに開封し、○印の多いチームを抽選勝ちとする。

15. そ の 他 ①試合にあたり、指導者・父兄は紳士的にふるまうこと。

②応援席での喫煙・飲酒は厳禁とする。（携帯灰皿も不可）発見した場合は退場させる。

喫煙は、競技場において決められた場所で、行うこと。

③応援は鳴り物（笛、鐘、太鼓、メガホン、ペットボトル、うちわ等）の使用を禁止する。

④応援については、マナーを守って行うこと。野次・罵声は禁止する。

⑤応援席の掃除、整備は使用したチームが責任をもって行うこと。

⑥その日の第1試合に出場のチームは、外野に限り練習に使用してもよい。その際アップ用の服装（同一が望ましい）でもよいが、打順表の提出時には全員ユニフォームに着替えること。第2試合以降のチームは、試合開始予定時刻に関係なく、前の試合が終了次第シートノックを行うので、終了あいさつ終了後直ちにグラウンドに入り、外野側のベンチ横に用具を置きキャッチボールを行う。

⑦球場内でのフリーバッティングは禁止する。

⑧第2試合以降は、試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了した後20分を目安に次の試合を開始する。

⑨組み合わせ表にある試合開始時刻はあくまでも予定であり、第2試合以降のチームは試合開始予定時刻の1時間前に集合し、大会本部に到着を届けること。

⑩試合開始時刻になっても会場に到着しないチームは、原則として棄権とみなす。